



Next Seminar

7 WED
29



Jul, 29, 2026

アメフトで5度日本一を勝ち取った異色のボイストレーナーが教える「人・組織を動かすリーダーの声」研修体験セミナー

本研修では、講師がアメリカンフットボールの司令塔・クォーターバックとして、また司令塔育成コーチとして計5回の日本一を経験する中で培った知見と、身体・呼吸・声・心を調え、自分自身の軸を作る「禅ボイス®」メソッドを融合させたプログラムで、“人の心を動かす声”の本質を体感的に学びます。

詳細はこちらです。
<https://entrelabo.co.jp/public>

講師インタビュー：もっと学びを楽しく、働くことを楽しめる社会にしたい人

今回は、株式会社クラウドクリエイションズ代表取締役の石原佳史子さんにお話をお聞きしました。

したい。そうした思いから、自然に夢中になれるボードゲームを研修に取り入れる形へと発展させました。

1. 現在のお仕事や活動について

はじめまして。株式会社クラウドクリエイションズ代表取締役の石原佳史子と申します。現在は、ボードゲームを活用した研修事業を主軸に展開しております。

企業研修や大学でのキャリア講座、採用・就活時のマッチング支援などに活用いただきながら、研修コンテンツをゲーム化して広げる仕事に取り組んでいます。

2. 今回の研修プログラムを開発したきっかけ

もともと私は、「もっと学びを楽しく、働くことを楽しめる社会にしたい」という思いを持って活動してきました。

学ぶことや働くことが、苦しいことや我慢しなければならないこととして捉えられがちな風潮を変えたいと考えていたのです。同じゴールを目指すのであれば、その過程でもできるだけ多くの人にとって楽しく、挑戦しがいのあるものに

3. このプログラムを通じて目指していること この研修を通じて増やしたいのは、働くことを 楽しめる人、そして創造的に働ける人です。

一人ひとりの中には、まだ表に出ていない能力やアイデアがたくさん眠っていると感じています。ゲームという場を通じて、それを口に出し、行動に移し、「自分もやってみていいんだ」「挑戦してみてもいいんだ」と思える人を増やしていきたいと考えています。

4. プログラムの特徴

このプログラムの特徴は、ボードゲームで遊びながら、自然にチームワークや横のつながりを育てられる点にあります。

みんなで一つの目標に向かいながらも、それを苦しいものではなく、楽しみながら進められるのが大きな特長です。

また、ゲームの中では失敗も挑戦の一部として受け止めやすくなるため、心理的安全性が高まり、普段は言いにくいことにも前向きに取り組みやすくなります。

(裏面へつづく)

5. プログラムのこだわり

私たちが特にこだわっているのは、その会社や事業部、団体ごとの課題や文化に合わせて、ゲーム自体をカスタマイズできる点です。

こうした課題に対し、ゲームというシミュレーションの場を通じて、相手への配慮や効果的な声かけの仕方を自分で考える力を養う研修を提供しています。

既製のゲームで一つの正解を目指すのではなく、それぞれの現場に合った問いを立て、参加者同士が対話し、実行しながら答えを探していくことを大切にしています。

私は答えを与えるのではなく、皆さんが自分たちにとって働きやすく、楽しく働ける形を見つけていくための「場づくり」にこだわっています。

6. 実際に参加された方の変化

印象的だったのは、製造業で働く方が3回連続で研修に参加された後のお話です。

それまであまり前向きに仕事の話がされなかった方が、「工場に落ちているゴミに気づいて拾えるようになった」と話してくださいました。

さらに、自分のデスク周りの乱れにも気づき、整理整頓するようになったそうです。

研修だけが要因かは分かりませんが、物の見方や着眼点が変わることで、日々の行動にも変化が生まれることを感じたエピソードでした。

7. 企業研修でよくある課題感

企業からよく伺う課題としては、リーダーシップを持った人材を育てたいという声や、部署間・職種間のコミュニケーションをもっと深めたいという声があります。仕事中心であっても目の前の業務が優先されるため、本質的な対話の時間が取りにくいという悩みも多く聞かれます。

8. 研修やサービスの展開事例について

これまでには、毎月1回の年間契約で継続的に研修を導入いただいている企業もありますし、就職マッチングイベントなどで単発的に活用いただくケースもあります。

最短では4時間程度の半日研修から実施しており、テーマや回数は企業ごとに柔軟にカスタマイズしています。

コミュニケーション、コンプライアンス、事業承継後のチームビルディングなど、幅広いテーマに対応しているのも特長です。

9. AI 採用マッチングサービスと今後のメッセージ

近年は、学生が大規模な就活イベントで「どの企業ブースを回ればよいか分からない」という課題にも着目し、AIを活用した採用マッチングサービスの開発も進めています。

ボードゲームを通じて表れやすい本人の特性や価値観を言語化・可視化し、企業側が求める人物像と照合することで、その場で相性の良い企業を提案できる仕組みです。

ゲームの可能性と人の可能性の両方に気づきながら、一人ではできないことを仲間と実現する新しい働き方を広げていきたいと思っています。まずはぜひ一度、体験していただければ嬉しいです。

石原さんの研修メニューは以下にございます。

<https://x.gd/3b874>



【コラム執筆】

人と人、人とコトの仲をつなぐ
仲津定宏

石倉さんは、AIを使った取り組みにも果敢に挑戦されていて、ボードゲームのようなアナログと、AIのデジタルの融合の視点がとてもユニークだと思います。

セミナー実施報告

哲学対話ワークショップ体験セミナー実施報告



2026年6月4日、『問う力』と『聴く力』でチームが変わる。思考を深める哲学対話ワークショップ体験セミナーを開催いたしました。講師には、ソトのガクエン代表であり、哲学×経営の専門家として活動する小林卓也氏をお迎えし、哲学対話を通じた組織づくりとコミュニケーションのあり方について学びました。

セミナーでは、「哲学とは何か」という問いからスタートし、ソクラテス以来の哲学の本質である“対話を通じて考えを深める営み”について紹介いただきました。その後、「過去と未来、行くならどちらか」といった身近なテーマを題材に哲学対話を体験し、参加者それぞれの価値観や前提が異なることを実感しました。問いを立て、相手の話に耳を傾けながら対話を重ねることで、曖昧な概念を言語化し、相互理解を深めることの重要性を学びました。